



©2005 石塚真一/小学館

第 333 号(令和6年(2024 年)3月 14 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ

特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

～山岳遭難の現場から Mountain Rescue File No.3～

今回は、2月中旬の三連休初日に天狗岳周辺で相次いで発生した山岳遭難を事例に取り上げ、冬山での行動計画の基本やビバーク装備の重要性について考えたいと思います。

https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/mountain_rescuefile.html 長野県警察 山岳情報

<https://www.yamakei-online.com/yama-ya/detail.php?id=3041> 山と溪谷オンライン 編集・転載

<https://yamahack.com/6087> YAMA HACK 編集・転載

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

3月2週は、2件の山岳遭難が発生しました。

2件とも単独登山者による遭難で、下山中に発生しています。

この時期は、寒暖差が大きいと、気温の上昇によって溶けた雪が、気温の低下とともに一気に凍ってアイスバーンになっている箇所が複数あります。

歩行中は雪の状況をしっかりと確認するとともに、急斜面の下りやトラバースの際は、特に慎重な行動に努めてください。登山時と下山時では、雪の状態が変わることも忘れずにください。

また、アクシデントにより救助要請をしても、時間帯や天候状況によってすぐに救助ができない場合があります。非常時に備え、寒さに耐えられる防寒着やツェルトなどの装備品、予備の食料・飲料水を必ず携行しましょう。

これからの時期は、周期的に天候が変わり、午前と午後では、天候が大きく変化する場合があります。標高の高い山域では日中の寒暖差が大きくなり、それに伴い積雪が不安定になる傾向にあります。ビーコン・ショベル・プロブの雪崩対策装備の携行はもちろんのこと、入山前の天候状況や当日の積雪状態の確認は、誰もが心掛けていなければならないことです。入念な計画を立てた上で入山をお願いします。

帰りを待つ御家族から、「登山に出掛けると言ったまま連絡が取れない」といった問い合わせもありましたが、結果的には、ご本人は登山中で無事が確認されました。

登山へ行く前に、家族等に登山計画を共有する場合は、「〇〇山へ行ってくる」だけではなく、詳細な行き先と登山日程を確実に共有しましょう。あなたの帰りを待つ家族等は、連絡が取れなかったり、下山予定日なのに帰宅してこないといったことがあると、何かアクシデントがあったのではないかと心配になります。お互いに登山計画の内容を共有しておくことも大切なことです。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
3月10日	中央アルプス中岳	男	34	負傷	滑落	単独で木曾駒ヶ岳から千畳敷に向けて下山中、バランスを崩し、滑落、負傷



3月10日	北アルプス 霞沢岳	男	50	負傷	滑落	単独で霞沢岳から上高地に向けて下山中、スリップし、滑落、負傷
-------	--------------	---	----	----	----	--------------------------------

令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況(令和6年(2024年)1月1日～3月10日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年(2024年)	40	7	1	10	30	48	18
内)バックカントリー	19	2		3	20	25	5
内)単独登山	11	2		2	7	11	4
令和5年(2023年)	43	6	2	21	22	51	29
前年同期比	-3	+1	-1	-11	+8	-3	-11
内)バックカントリー	+5	-1	-2	-2	+11	+6	-5
内)単独登山	-6	±0	±0	-4	-2	-6	-4

■山域別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～3月10日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	12	30.0%	2	0	3	12
	その他	2	5.0%	1	0	1	3
	計	14	35.0%	3	0	4	20
中央アルプス	3	7.5%	0	0	2	2	4
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	13	32.5%	3	0	4	6	13
その他の山岳	10	25.0%	1	1	0	9	11
計	40		7	1	10	30	48

■態様別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～3月10日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	7	17.5%	1	1	5	0	7
転倒	3	7.5%	0	0	3	0	3
病気	1	2.5%	0	0	0	1	1
道迷い	14	35.0%	0	0	0	18	18
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	4	10.0%	2	0	1	3	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	6	15.0%	3	0	0	3	6
不明・他	5	12.5%	1	0	1	5	7
計	40		7	1	10	30	48

■男女別・年齢別比率(令和6年(2024年)1月1日～3月10日)

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	1	1	13 34.2%	0	0	0	1	1	3 30.0%	2	16 33.3%
20代	0	0	1	3	4		0	0	0	2	2		6	
30代	1	0	1	6	8		0	0	0	0	0		8	
40代	3	0	2	4	9	22 57.9%	0	0	0	2	2	7 70.0%	11	29 60.4%
50代	2	1	3	7	13		0	0	3	2	5		18	
60代	1	0	0	2	3	3 7.9%	0	0	0	0	0	0 0.0%	3	3 6.3%
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	
計	7	1	7	23	38		0	0	3	7	10		48	
比率	79.2%						20.8%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。